

## 第4期事業報告書

令和3（2021）年1月1日から令和3年(2021)12月31日まで

一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会

### I. 事業実施の概要

AYA がんの医療と支援のあり方研究会は、思春期・若年成人（AYA）がん領域の学術活動、教育活動、社会啓発及び人材育成等を行うことにより、我が国の思春期・若年成人がん領域における医療と支援の向上に寄与することを目的とする。第4期は、新たに、研究会誌「AYA がんの医療と支援」第1号、第2号の刊行、AYA 世代のがんピアサポーター養成研修会の開催、社会啓発事業として AYA week 2021 の開催、を行った。また、当期もコロナ禍のため、第3回学術集会、第3回および第4回 AYA がん患者サポート研修会、第6回および第7回 AYA がん教育セミナーを Web 開催により実施した。これら講義の Web 視聴を可能とするため e-learning システムを構築した。また、ウェブサイトの改修、各種団体との共催・後援・協力によるシンポジウム等イベントの開催、および、各種新聞等メディアを介した広報活動を行った。

### II. 事業に関する事項

（学術集会、講演会等の開催事業）

#### 1. 第3回学術集会の開催

会長：清水千佳子（国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センター/乳腺・腫瘍内科）

テーマ：AYA がつくる新しい医療と支援のかたち

キャッチフレーズ：創造する未来

会期：2021年3月20～21日（土、日）

会場：オンライン開催

オンデマンド配信（2021年3月20日～3月31日）

参加者：353名

（学術誌及び論文と図書の刊行事業）

#### 2. 研究会誌「AYA がんの医療と支援」の刊行

1) 1巻1号発刊：2021年2月3日に公開

総説5編、活動紹介4編 計9編

2) 1巻2号発刊：2021年9月17日に公開

原著1編、活動紹介3編 計4編

（教育・研修、並びに人材育成事業）

#### 3. 研修用 e-learning システム構築

Edulio と Vimeo を使用してシステム構築し、26 件の視聴用講義動画を作成した。

#### 4. AYA がん患者サポート Web 研修会の開催

1) 第3回開催：2021年5月22日（土）10-17時

事前 e-learning 視聴期間：4月23日～5月16日

当日ファシリテーター：9名、e-learning 講師・当日質疑応答：12名

参加・修了者 37名

2) 第4回開催：2021年11月6日（土）10-17時

事前 e-learning 視聴期間：10月8日～31日

当日ファシリテーター：11名、e-learning 講師・当日質疑応答：14名

参加・修了者 38名

## 5. AYA 世代教育 Web セミナーの開催

テーマ「自分らしく生きる力」～私の力と周りの力～

第1部 教育講演2題：公認心理師/がん・生殖医療専門士、がん看護専門看護師

第2部 経験者との対談：経験者2名

- 1) 第6回開催：AYA 研×東北がんプロ共催

2021年1月30日 13:00—16:45

参加者 約70名

- 2) 第7回開催：AYA 研×関西・AYA がん患者支援ネットワーク共催

2021年8月7日 13:00—17:00

参加者 約80名

## 6. AYA 世代のがんピアサポーター養成研修会の開催

会期：2021年3月14日（日）13:00～17:30

会場：Zoom ミーティングルーム

参加者：27名、講師・ファシリテーター：8名

（社会啓発、並びに普及事業）

## 7. 広報活動

1. ウェブサイト改修・運営
2. AYA 研ニュースの配信（会員向け）
3. 共催
  - ・2021年2月12日～25日 第11回日本がん・生殖医療学会学術集会 共催シンポジウム
4. 後援
  - ・東京都立多摩総合医療センター、東京都立小児総合医療センター主催：医療従事者向けシンポジウム
  - ・がんの子どもを守る会主催：がんの子どもを守る会 2021年度年次大会
  - ・東京都立小児総合医療センター主催：AYA キャンサーサバイバーズミーティング
  - ・東京都福祉保険局主催：東京都小児がん診療連携協議会 第9回市民公開講座「小児・AYA 世代がんの基礎知識～妊孕（にんよう）性温存とがんゲノム～」
  - ・認定NPO 法人希望の会主催：一緒に知ろう とともに考えよう AYA 世代のがんのこと①『家族』～AYA 世代のがん、家族の想い～
  - ・認定NPO 法人希望の会主催：一緒に知ろう、ともに考えよう AYA 世代のがんのこと②『AYA 世代はがんだけじゃない』～病と共に生きるからこそ思うこと、見えること～
  - ・ノバルティスファーマ株式会社主催：小児・AYA がん経験者のための就活支援動画
5. 協力
  - ・聖路加国際病院主催：東京都委託 AYA 世代がん患者支援体制構築事業
6. 報道実績
  - ・2021/1/6：ハフポスト：若いがん患者が「後悔する決断」をするリスクを減らしたい。高校生でがんになった医師たちはLINE を開設した
  - ・2021/3/5：朝日新聞デジタル：国内初、若年がん患者の大規模イベント 3月14日から
  - ・2021/3/8：岐阜新聞 Web：がんと闘い高校受験「経験伝えたい」看護師に AYA 世代支援へ全国運動
  - ・2021/3/12：産経新聞：「AYA 世代」のがん、知る機会に 14日から「AYA week」開催
  - ・2021/3/16：NHK NEWS WEB：若いがん患者“AYA 世代”の課題解決へ 21日まで関連催し開催

- ・2021/3/16：東京新聞 TOKYO Web：AYA がん 理解と支援を 初の全国イベントを開催
- ・2021/3/16：中日新聞：AYA がん 理解と支援を 初の全国イベントを開催
- ・2021/4/19：オンコロ：AYA 世代のがん関連研究の現状と今後は？ AYA がんの医療と支援のあり方研究会が市民公開講座を開催
- ・2021/11/19：日本経済新聞：若いがん患者の妊娠能力温存支援 1都3県が助成制度

## 8. AYA week 2021 の開催

AYA week は、AYA 世代のがんおよび患者の抱える問題の実態を理解し、AYA がん患者にとって生きやすい社会を作るために、自分ができることを考えられるようなきっかけを生むための AYA 世代がんの社会啓発活動を目的とする。AYA week 2021 では、「知ろう、一緒に」をテーマに、2021 年 3 月 14 日～3 月 21 日の 8 日間（プレ・ポストイベントを含む）に、全国の 78 のイベント開催団体、11 の寄付・協賛団体、61 の後援団体の協働により、80 以上のイベントが開催された。AYA 研内外の 27 名から成る実行委員会を中心に運営し、AYA week 2021 ホームページの開設、ポスター・チラシ、広報誌 AYA ZINE の作成、Facebook、Twitter、Instagram の SNS を活用、各種メディアを介した広報により AYA 世代がんの啓発活動を行った。

実行委員会（Web 開催、全 13 回）：（2020 年）10/12、10/26、11/9、11/24、12/7、12/21、  
（2021 年）1/12、1/25、2/8、2/22、3/8、3/29、4/26

## Ⅲ. 運営に関する事項

### 1. 理事会の開催状況

#### 1) 第 17 回理事会

日 時：令和 3 年 2 月 8 日（月） 17：30～19：30

場 所：国立がん研究センター 中央病院 管理棟 1 階 第 3 会議室

審議事項： 第 1 号議案 謝金規程について

第 2 号議案 令和 2 年度事業報告および決算報告について

第 3 号議案 令和 3 年度事業計画および収支予算について

第 4 号議案 定款施行細則の変更（副会長、会費滞納者の権利、理事長任期、新規委員会設置）について

第 5 号議案 次次期会長の選出

第 6 号議案 通常総会について（議事次第、開催方法・議決権）

第 7 号議案 e-learning システム構築について

第 8 号議案 その他

① 入会手続きについて

② 事業報告、委員会報告の開示について

③ 利益相反確認スケジュールについて

#### 2) 第 18 回理事会

令和 3 年 4 月 9 日（金） 18：00～20：00

場 所：Zoom ルーム

審議事項：第 1 号議案 教育・研修委員の交代について

第 2 号議案 自販機の設置について

第 3 号議案 AYA week 2022 開催の可否、開催時期

#### 3) 第 19 回理事会

日 時：令和 3 年 5 月 7 日（金） 18：00～20：30

場 所：Zoom ルーム

審議事項：第 1 号議案 研究会誌投稿規程の一部改訂について

第 2 号議案 休会届の理事会承認について

第 3 号議案 利益相反マネジメントに関する指針の改正、細則の変更について

第4号議案 AYA week 2022 の運営体制について

第5号議案 AYA 研の今後について

#### 4) 第20回理事会

日時：令和3年6月18日（金） 18：00～20：00

場所：Zoom ルーム

審議事項：第1号議案 新委員の推薦（教育・研修委員会）

#### 5) 第21回理事会

日時：令和3年7月30日（金） 18：00～20：00

場所：Zoom ルーム

審議事項：第1号議案 学術・プログラム委員会

「一般演題における症例報告の同意取得および発表指針の変更について」

第2号議案 編集委員会

「1.投稿規程の改訂について」

「2.査読者の手引きの改訂について」

第3号議案 財務委員会「Amgen 社からのご寄付に関して」

第4号議案 AYA week 2022 「AYA week 2022 実行委員会の体制について」

#### 6) 第22回理事会

日時：令和3年9月7日（火） 18：00～20：00

場所：Zoom ルーム

審議事項：第1号議案 庶務委員会

① 謝金規定変更について

第2号議案 学術・プログラム委員会

① 第4回学術集会プログラム案について

② 一般演題事例発表の同意取得に関するステートメントについて

#### 7) 第23回理事会

日時：令和3年12月3日（金） 18：00～20：00

場所：Zoom ルーム

審議事項：第1号議案 理事の再任について

第2号議案 役員選挙スケジュールについて

第3号議案 社会連携委員会の提案について

1) ピアサポート研修の開催、並びに研修資料の作成について

2) 広報委員会との合同委員会の発足（広報・社会連携合同委員会）について

第4号議案 寄付金の使途について

第5号議案 事業報告書・計画書、予算書について

第6号議案 理事長諮問委員会からの提案について

## 2. 委員会の開催状況（全て Web 会議）

1. 学術・プログラム委員会

5/17, 6/7, 6/14, 7/15, 8/10, 9/16, 10/4, 11/2, 12/8

2. 編集委員会

1/23, 3/1, 4/25, 5/28, 7/11, 8/22, 10/15, 12/13

3. 教育・研修委員会
  - 1) 教育・研修委員会  
1/22, 3/26, 4/23, 6/11, 8/27, 10/22, 11/26, 12/17
  - 2) 関西 WG  
4/28, 6/16, 7/29, 8/26, 10/15, 11/25
  - 3) 教育セミナーWG  
3/23, 5/25, 7/27, 10/19, 11/30
4. 広報委員会  
1/18, 2/15, 3/15, 4/19, 5/17, 6/21, 7/19, 8/16, 9/27, 10/18, 11/22, 12/20
5. 社会連携委員会  
1/22, 7/19, 11/12
6. 利益相反委員会  
11/25
7. 庶務委員会  
12/23

#### IV. 会員に関する事項

会員動向 (2021年12月31日現在)

正会員	457名	(うち入会64名、退会21名、区分変更(入)5名、区分変更(出)1名) ＜2020年度末410名＞
準会員	124名	(うち入会12名、退会12名、区分変更(入)3名、区分変更(出)1名) ＜2020年度末122名＞
学生会員	57名	(うち入会24名、退会1名、区分変更(入)1名、区分変更(出)7名) ＜2020年度末40名＞
賛助会員	4団体	(うち入会1団体、退会1団体) ＜2020年度末4団体＞

正会員	1) 医師・看護師	360名	・医師 159名 ・看護師 201名
	2) その他の 国家資格取得者、 公的資格取得者、 または研究者	85名	・社会福祉士 12名 ・臨床心理士・公認心理師 25名 ・作業療法士 5名 ・理学療法士 6名 ・薬剤師 9名 ・歯科医師 2名 ・その他 26名 (研究機関の研究者、臨床検査技師、管理栄養士、 診療情報管理士、生殖医療相談士、生殖補助医療胚 培養士、専門健康心理士、遺伝子カウンセラー、ソ ーシャルワーカー)
	3) 患者・支援者・ 一般人	12名	・がん患者支援団体運営者 3名 ・若年がん患者の会代表 2名 ・正会員からの推薦 7名
準会員	・がん患者、がん経験者 ・患者家族 ・支援者 ・医療従事者 ・その他	47名 6名 10名 58名 3名	(食品会社社員、メディカルアシスタント)

会費納入率 (2021年12月31日現在)

会員種別	2021年度 納入者数/会員数	納入率
【正会員】	373/457名	82%
【準会員】	78/124名	63%
【学生会員】	43/57名	75%
【賛助会員】	3/4団体	75%

## V. 役員に関する事項

任期(第3期～第4期): 2020年3月21日～2022年定時総会終結まで  
理事長

堀部 敬三 (国立病院機構名古屋医療センター 小児科)

副理事長

清水 千佳子 (国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科)

理事

小澤 美和 (聖路加国際病院 小児科)

川井 章 (国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科)

岸田 徹 (NPO 法人がんノート代表理事)

桜井 なおみ (一般社団法人CSRプロジェクト代表理事)

鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学)

高橋 都 (NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事)

津村 明美 (認定NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト)

富岡 晶子 (東京医療保健大学医療保健学部看護学科)

森 文子 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

吉田 沙蘭 (東北大学大学院教育学研究科)

渡邊 知映 (昭和大学保健医療学部看護学科)

監事

小原 明 (東京工科大学医療保健学部看護学科)

丸 光恵 (兵庫県立大学 小児看護学)

# 決算報告書

第4期

自 2021年1月1日  
至 2021年12月31日

一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会

名古屋市中区錦三丁目6番35号  
WAKITA 名古屋ビル 8階

## 貸借対照表

令和 3 年 12 月 31 日 現在

一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会

単位:円

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
預金	ゆうちょ銀行他	50,585,141	
未収入金		200	
前払費用		186,859	
流動資産合計			50,772,200
2 固定資産			
備品		29,160	
固定資産合計			29,160
3 繰延資産			
創立費		89,365	
繰延資産合計			89,365
資産合計			50,890,725
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用		3,225	
未払法人税		71,000	
前受金		3,004,006	
仮受金		1,000	
預り金		2,274	
流動負債合計			3,081,505
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			3,081,505
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		9,333,278	
当期正味財産増減額		38,475,942	47,809,220
正味財産合計			47,809,220
負債及び正味財産合計			50,890,725

## 損益計算書

令和 3 年 1 月 1 日 から 令和 3 年 12 月 31 日 まで

一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会

単位:円

科 目	決算額			
	一般会計	特別会計		
I 経常収益				
1 事業収入				
1) 図書刊行事業収入	838,369			
2) 教育・研修事業収入	966,000		1,804,369	
2 入会金・受取会費				
1) 会員受取会費	2,384,000		2,384,000	
3 受取寄附金				
1) 受取寄附金	39,119,291		39,119,291	
4 特別会計収入				
1) AYWeek2021		2,839,850		
2) 第3回学術集会収入		19,144,418	21,984,268	
4 その他収益				
1) 雑収入	10,007			
2) 受取利息	125		10,132	
経常収益合計				65,302,060
II 経常費用				
1) 人件費				
人件費計	-	-		
2) その他経費				
消耗品費	4,288			
租税公課	1,497			
減価償却費	29,160			
通信費	37,794			
創立費償却	36,976			
委託料	5,637,500			
教育研修事業費	1,404,920			
Web関係費	119,330			
普及啓発事業費	57,000			
連携事業費	73,452			
図書刊行事業費	965,460			
雑費	22,828			
特別会計費		18,364,913		
その他経費計	8,390,205	18,364,913		
事業費計			26,755,118	
経常費用合計				26,755,118
当期経常増減額	34,927,587	3,619,355		38,546,942
税引前当期正味財産増減額				38,546,942
法人税、住民税及び事業税				71,000
当期正味財産増減額				38,475,942
前期繰越正味財産額				9,333,278
次期繰越収支差額				47,809,220

一般社団法人  
AYA がんの医療と支援のあり方研究会  
理事長 堀部 敬三 殿

## 監 査 報 告 書

一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会の定款第 4 章第 25 条に基づき、第 4 期（2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日）収支決算について監査を実施しました。

収支決算ならびに付属書類について突き合せの結果、適法かつ適正に作成されており、その内容は妥当と認めました。

監査事項：

- ・ 第 4 期決算報告書
- ・ 第 4 期事業報告書

一般社団法人  
AYA がんの医療と支援のあり方研究会

2022 年 2 月 28 日

監事 小原 明 

監事 丸 光恵 

## 庶務報告

会員管理 2022年3月2日 現在 総数 599名、 3 団体

	現 会員数	2021年度末 会員数	入会	退会 (内自動退会)	区分変更 (入)	区分変更 (出)
正会員	443	457	13	27 (27)	0	0
準会員	102	124	3	25 (25)	0	0
学生会員	54	57	0	3 (3)	0	0
賛助会員	3	4	0	1 (1)	0	0

## 会員内訳

正会員 443名	1) 医師・看護師	349名	・医師 ・看護師	160名 189名
	2) その他の 国家資格取得者、 公的資格取得者、 または研究者	83名	・社会福祉士 ・臨床心理士・公認心理士 ・作業療法士 ・理学療法士 ・薬剤師 ・その他	12名 24名 6名 6名 9名 26名
	(研究機関の研究者、臨床検査技師、生殖医療相談士、診療情報管理士、 生殖補助医療胚培養士、管理栄養士、助産師、遺伝子カウンセラー)			
準会員 102名	3) 患者・支援者・ 一般人	11名	・がん患者支援団体運営者 ・若年がん患者の会代表 ・正会員からの推薦	3名 2名 6名
	・がん患者	14名		
	・がん経験者 ・患者家族 ・支援者 ・医療従事者 ・その他	26名 4名 11名 44名 3名	(食品会社社員、ボランティア団体、メディカルアシスタント・不妊カウンセラー)	

一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会定款施行細則  
ver. 3.8 (ver.3.5 以降の変更事項を下線表記)

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この細則は定款第 4 条の事業を遂行するために必要な事項を規定し、円滑な研究会運営を推進することを目的とする。

第 2 章 会員

(入会手続)

第 2 条 本会に入会するものは、入会申請書に必要な事項を記入の上、本会事務局に申し込む。

2 準会員については、所属の団体がない場合は、正会員の推薦を要する。

(入会の承認)

第 3 条 当該年度内の理事会で承認を得る。

(入会日と入会の通知)

第 4 条 入会日は、入会金（初年度年会費）の入金日とする。入会金（初年度年会費）の入金確認後、本会事務局より本人に入会の通知を送付する。

(正会員の権利)

第 5 条 正会員には次の権利がある。

- (1) 総会に出席し意見を述べること。
- (2) 総会の審議事項について議決権を行使できること。
- (3) 通常総会の議決権は、新規入会者については、前年度に第 4 条の手続きを完了した者のみ有する。既存会員については、前年度に年会費を納めた者のみ有する。
- (4) 臨時総会の議決権は、その日を含んで 3 ヶ月前の月末までに入会した者。
- (5) 本会の学術集会において研究成果を発表し、報告を行うこと。
- (6) 本会の発行する学術刊行物、メールニュースの配布・配信を受けること。
- (7) 本会の発行する学術刊行物に投稿できること。
- (8) 本会が開催する研修会等へ会員として参加できること。

(準会員、学生会員の権利)

第 6 条 準会員、学生会員には次の権利がある。

- (1) 本会の学術集会において研究成果を発表し、報告を行うこと。
- (2) 本会の発行する学術刊行物、メールニュースの配布・配信を受けること。
- (3) 本会の発行する学術刊行物に投稿できること。
- (4) 本会が開催する研修会等へ会員として参加できること。

(賛助会員の権利)

第 7 条 賛助会員には次の権利がある。

- (1) 本会の発行する学術刊行物、メールニュースの配布・配信を受けること。
- (2) ホームページ『協賛一覧』ページに法人・団体・個人名を掲載。
- (3) 『協賛一覧』に企業ホームページのリンクを貼付、ならびに、ホームペー

ジトップページのフッタにバナー広告を貼付。バナー広告のサイズ等様式は、別に定める「バナー広告掲載について」に従うものとする。

(会員区分の変更)

- 第 8 条 会員区分を変更するときは、入会申請書に記入の上、本会事務局に申し込む。
- 2 変更の際には、当該年度内の理事会で承認を得る。
  - 3 新区分の年会費を納入した時点で変更が完了し、旧区分の資格は失う。
  - 4 年度内に区分を変更したとしても、変更前の年会費の返還はしないものとする。

(会費滞納による会員権利および資格喪失)

- 第 9 条 会費の滞納が発生したときは、会員の権利の一部は停止されるものとする。  
(本会の学術集会において研究成果を発表し、報告を行うこと。本会の発行する学術刊行物に投稿できること。及び、本会が主催する研修会等へ会員として参加できること) ただし、正会員に限り、総会の議決権および選挙権についても権利を有しないものとする。
- 2 会費の滞納が1か年を超えるとときは、滞納が生じた前年度末をもって会員の資格を喪失するものとする。

(滞納会費の受け入れ)

- 第 10 条 滞納会費の納入があったときは、滞納の発生順に充当するものとする。ただし、会員資格喪失後、年会費の納入があった場合は再入会とし、当該年度の会費として受け入れる。

(休会)

- 第 11 条 会員は、休会届に期間および理由を付して提出し、休会することができる。
- 休会理由
- (1) 出産及び育児のため
  - (2) 健康上の理由のため
  - (3) 留学のため
  - (4) その他
- 2 休会は、当該会計年度の終了後から開始する。期間は、原則1年とし、休会の繰り返しを妨げない。
  - 3 休会の中止は、復会届と共に、当該年度の会費を納入しなければならない。
  - 4 休会の期間中は、会員の資格を一時的に停止するものとする。

### 第3章 会費

(入会金)

- 第 12 条 本会の入会金は入会年度の年会費をもってこれにかえる。

(会員の年会費)

- 第 13 条 本会会員の年会費は、次の通りとする。
- (1) 正会員 5,000 円
  - (2) 準会員 2,000 円
  - (3) 学生会員 1,000 円
  - (4) 賛助会員 一口 50,000 円

- 2 会員は当該年度末までに年会費をおさめなければならない。

#### 第4章 役員

(理事の選任および任期)

- 第14条 理事は定款第4章第23条により正会員の中から立候補制によって選任される。
- 2 選挙に先立って正会員の中から理事会の推薦によって2名以上の選挙管理委員が選任される。
  - 3 選挙管理委員会は選挙の行われる2か月前までにすべての選挙に関する日程を正会員に対して公示する。選挙管理委員の氏名も同時に正会員に公表される。
  - 4 選挙管理委員会は選挙権を有する正会員の名簿と領域別に選出すべき理事数、及び投票方法を選挙の行われる2か月前までに学会ホームページの会員専用欄を通じて正会員に向けて公告する。
  - 5 理事の候補者になろうとする者は定められた期日までに所定の立候補用紙をもって選挙管理委員会に届け出ることとする。
  - 6 選挙管理委員会は、候補者名簿と候補者の所信表明をそろえて選挙の行われる1か月前までに学会ホームページの会員専用欄を通じて正会員に向けて公告する。
  - 7 選挙は選挙権を有する全正会員による投票によって行われる。
  - 8 選挙結果をもって選任されたものとみなす。
  - 9 即時、正会員に通知し、総会で報告した後に学会ホームページに公表する。
  - 10 領域別理事定数を以下の3領域別に定める。正会員は定款第5条会員種別
    - (1) 正会員に記載された各正会員の属する領域(イ)(ロ)に限定されることなく、全領域の候補者に対して選挙権を有する。理事候補者は領域別に立候補を行う。
 定款第5条会員種別(1)正会員(イ)を被選挙者とする次の2領域
    - 1) 医師・看護師 12名
    - 2) その他の国家資格取得者、公的資格取得者、または研究者 2名
 定款第5条会員種別(1)正会員(ロ)を被選挙者とする次の領域
    - 3) 患者経験者・支援者・一般人 2名
 ただし、正会員(イ)の患者経験者は、3)の被選挙権を有するものとする。
  - 11 理事候補者が定数の領域は信任投票とし、有効投票数の3分の2の信任を得なければならない。
  - 12 理事候補者が領域別定数に満たない場合は選挙管理委員会の答申により理事会が候補者を推薦することができる。
  - 13 候補者が領域別定数を超えたときは不完全連記による投票で選出する。得票数が同票の場合は、年齢の低いものを当選者とする。
  - 14 立候補の年齢制限は設けず、理事の定年は定めない。
  - 15 理事の任期は2年間とし、選任された総会終了後から2年後の総会終了までとし、連続して2期まで務めることができる。設立第1期の役員の任期は2期目から数えて再選1回(設立時1期に加えて2期)とする。
  - 16 理事長は理事会審議を経て若干名の理事を追加指名できる。ただし、任期は指名された日から次期役員の選任を行う総会終了までとする。
  - 17 理事の改選は2年ごとに行い、再任の認められない理事または再任を辞退した理事数を各領域で選出する人数として改選する。ただし、補欠あるいは増

員の場合はこの限りではない。

- 18 補欠として選任された理事の任期は前任者の任期の満了する時までとする。
- 19 任期満了の監事は連続して理事に就任できない。
- 20 理事候補者は監事の候補者になることができない。

(理事長の任期)

- 第 15 条 理事長の任期は 2 年とし、再任は妨げないが連続再任は 1 回（1 期 2 年 2 期=4 年）までとする。
- 2 理事任期 2 期目の理事長は、次期（3 期目）理事に立候補することができる。

(監事の選任)

- 第 16 条 監事は定款第 23 条により正会員の中から立候補または推薦によって選任される。
- 2 選挙に先立って選挙管理委員が選出されるが、委員は第 13 条第 2 項で選任されたものがこれを務める。
  - 3 選挙管理委員会は、候補者名簿と候補者の所信表明をそろえて選挙の行われる 1 か月前までに学会ホームページ会員専用欄を通じて正会員に向けて公告する。
  - 4 監事の候補者となろうとする者は、定められた期日までに所定の立候補用紙をもって選挙管理委員会に届け出ることとする。
  - 5 立候補に年齢制限は設けない。
  - 6 選挙は選挙権を有する全正会員による投票によって行われる。
  - 7 理事会が総会に推薦する監事の定数は 2 名とし、2 名の連記投票とする。
  - 8 得票多数のものより順次当選者を定め、得票同数のときは年齢の低いものを当選者とする。候補者が定数の場合は信任投票とし、有効投票数の 3 分の 2 を獲得しなければならない。
  - 9 選挙結果をもって選任されたものとみなす。
  - 10 即時、正会員に通知し、総会で報告した後に学会ホームページに公表する。
  - 11 監事の任期は選出された定時総会終了翌日から次々期定時総会終了日までの 2 年間とし、再任を認めない。
  - 12 補欠として選任された監事の任期は前任者の任期の満了する時までとする。

## 第 5 章 委員会

(委員会)

第 17 条 本会の事業遂行と円滑な運営のために次の委員会を設置する。

- (1) 学術・プログラム委員会
- (2) 編集委員会
- (3) 賞等選考委員会
- (4) 調査・研究委員会
- (5) 教育・研修委員会
- (6) 広報委員会
- (7) 社会連携委員会
- (8) 国際連携委員会
- (9) 庶務委員会
- (10) 財務委員会
- (11) 利益相反委員会

(12) 倫理委員会

第18条 委員長は理事が務めるものとする。

第19条 委員は理事長又は委員長が推薦し、理事会が承認する。

第20条 委員の任期は、理事の任期に準じる。ただし、再任を妨げない。

第21条 委員会の運営は、別に定める各々の委員会細則に従うものとする。

## 第6章 学術集会

(学術集会)

第22条 学術集会は、学術集会会長の責任で毎年1回開催する。

2 学術集会会長を補佐するため、副会長を若干名おくものとする。

3 開催地及び開催時期は理事会において承認を得る。

(学術集会会長、副会長)

第23条 学術集会会長、副会長は、理事会において選任する。

2 学術集会会長、副会長の任期は前期学術集会終了翌日から当期学術集会終了日までとする。

3 学術集会会長、副会長、次期学術集会会長、副会長は、原則として理事会に出席するものとする。ただし、理事でない学術集会会長、副会長は議決権がないものとする。

## 第7章 事務局

(事務局)

第24条 事務局を名古屋市中区錦三丁目6番35号 WAKITA 名古屋ビル8階に置く。

2 業務を一般社団法人がん研究組織支援センター(SACRA)に委託して行う。

## 第8章 定款施行細則の変更

(定款施行細則の変更)

第25条 本細則の変更は、定款第58条に基づき、理事会で決議し、総会に報告する。

本施行細則は平成30年6月29日より施行する。

本施行細則は平成31年1月30日より施行する。

本施行細則は平成31年2月8日より施行する。

本施行細則は令和元年11月27日より施行する。

本施行細則は令和元年12月19日より施行する。

本施行細則は令和2年2月28日より施行する。

本施行細則は令和2年4月23日より施行する。

本施行細則は令和2年6月6日より施行する。

本施行細則は令和3年2月8日より施行する。

本施行細則は令和3年5月7日より施行する。

本施行細則は令和3年10月25日より施行する。

本施行細則は令和4年2月8日より施行する。

一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会定款施行細則 変更一覧

変更前ver3.5		変更後Ver 3.6		改訂の理由
頁	項目および記載内容	頁	項目および記載内容	
P2	<p>(休会)</p> <p>第11条 会員は、休会届に期間および理由を付して提出し、理事会の承認を得て休会することができる。ただし、理由は次の各号のいずれかに該当してなければならない。</p> <p>(1) 出産及び育児のため</p> <p>(2) 健康上の理由のため</p> <p>(3) 留学のため</p> <p>(4) その他、理事会が正当と認めた理由のため</p> <p>2 休会は、当該会計年度の終了後から開始する。期間は、原則1年とし、休会の繰り返いを妨げない。</p> <p>3 休会の中止は、復会届と共に、当該年度の会費を納入しなければならない。</p> <p>4 休会の期間中は、会員の資格を喪失するものとする。</p>	P2	<p>(休会)</p> <p>第11条 会員は、休会届に期間および理由を付して提出し、<del>理事会の承認を得て</del>休会することができる。<del>ただし、理由は次の各号のいずれかに該当してなければならない。</del></p> <p><del>休会理由</del></p> <p>(1) 出産及び育児のため</p> <p>(2) 健康上の理由のため</p> <p>(3) 留学のため</p> <p>(4) その他、<del>理事会が正当と認めた理由のため</del></p> <p>2 休会は、当該会計年度の終了後から開始する。期間は、原則1年とし、休会の繰り返いを妨げない。</p> <p>3 休会の中止は、復会届と共に、当該年度の会費を納入しなければならない。</p> <p>4 休会の期間中は、会員の資格を<b>喪失一時的に停止</b>するものとする。</p>	
P7	<p>本施行細則は平成30年6月29日より施行する。</p> <p>本施行細則は平成31年1月30日より施行する。</p> <p>本施行細則は平成31年2月8日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和元年11月27日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和元年12月19日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和2年2月28日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和2年4月23日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和3年2月8日より施行する。</p>	P7	<p>本施行細則は平成30年6月29日より施行する。</p> <p>本施行細則は平成31年1月30日より施行する。</p> <p>本施行細則は平成31年2月8日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和元年11月27日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和元年12月19日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和2年2月28日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和2年4月23日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和2年6月6日より施行する。</p> <p>本施行細則は令和3年2月8日より施行する。</p> <p><b>本施行細則は令和3年5月7日より施行する。</b></p>	

変更前ver3.6		変更後Ver 3.7		変更の理由
頁	項目および記載内容	頁	項目および記載内容	
P4	<p>(理事の選任および任期) 第14条 10 領域別理事定数を以下の3領域別に定める。正会員は定款第5条会員種別(1)正会員に記載された各正会員の属する領域(イ)(ロ)に限定されることがなく、全領域の候補者に対して選挙権を有する。理事候補者は領域別に立候補を行う。 定款第5条会員種別(1)正会員(イ)を被選挙者とする次の2領域 1) 医師・看護師 10名 2) その他の国家資格取得者、公的資格取得者、または研究者1名 定款第5条会員種別(1)正会員(ロ)を被選挙者とする次の領域 3) 患者・支援者・一般人 1名</p>	P4	<p>(理事の選任および任期) 第14条 正会員には次の権利がある。 10 領域別理事定数を以下の3領域別に定める。正会員は定款第5条会員種別(1)正会員に記載された各正会員の属する領域(イ)(ロ)に限定されることがなく、全領域の候補者に対して選挙権を有する。理事候補者は領域別に立候補を行う。 定款第5条会員種別(1)正会員(イ)を被選挙者とする次の2領域 1) 医師・看護師 12名 2) その他の国家資格取得者、公的資格取得者、または研究者 2名 定款第5条会員種別(1)正会員(ロ)を被選挙者とする次の領域 3) 患者経験者・支援者・一般人 2名 ただし、正会員(イ)の患者経験者は、3)の被選挙権を有するものとする。</p>	理事定数の変更(半数改選を行うため)
P4	<p>(理事の選任および任期) 第14条 15 理事の任期は2年間とし、選任された総会終了後から2年後の総会終了までとする。再任は妨げないが再選連続1回(1期2年2期=4年)までとする。設立第1期の役員の任期は2期目から数えて再選1回(設立時1期に加えて2期)とする。</p>	P4	<p>(理事の選任および任期) 第14条 15 理事の任期は2年間とし、選任された総会終了後から2年後の総会終了までとし、連続して2期まで務めることができる。再任は妨げないが再選連続1回(1期2年2期=4年)までとする。設立第1期の役員の任期は2期目から数えて再選1回(設立時1期に加えて2期)とする。</p>	理事任期を原則2期4年の記載(2期目の改選を不要とするため)
P4	<p>(理事の選任および任期) 第14条 16 理事長は理事会審議を経て若干名の理事を新たに指名できる。</p>	P4	<p>(理事の選任および任期) 第14条 16 理事長は理事会審議を経て若干名の理事を新たに指名できる。ただし、任期は指名された日から次期役員の選任を行う総会終了までとする。</p>	指名理事の任期の記載
P7	<p>本施行細則は平成30年6月29日より施行する。 本施行細則は平成31年1月30日より施行する。 本施行細則は平成31年2月8日より施行する。 本施行細則は令和元年11月27日より施行する。 本施行細則は令和元年12月19日より施行する。 本施行細則は令和2年2月28日より施行する。 本施行細則は令和2年4月23日より施行する。 本施行細則は令和2年6月6日より施行する。 本施行細則は令和3年2月8日より施行する。 本施行細則は令和3年5月7日より施行する。</p>	P7	<p>本施行細則は平成30年6月29日より施行する。 本施行細則は平成31年1月30日より施行する。 本施行細則は平成31年2月8日より施行する。 本施行細則は令和元年11月27日より施行する。 本施行細則は令和元年12月19日より施行する。 本施行細則は令和2年2月28日より施行する。 本施行細則は令和2年4月23日より施行する。 本施行細則は令和2年6月6日より施行する。 本施行細則は令和3年2月8日より施行する。 本施行細則は令和3年5月7日より施行する。 本施行細則は令和3年10月25日より施行する。</p>	

変更前ver3.7		変更後Ver 3.8		変更の理由
頁	項目および記載内容	頁	項目および記載内容	
P4	<p>(委員会) 第17条 本会の事業遂行と円滑な運営のために次の委員会を設置する。 (1) 学術・プログラム委員会 (2) 編集委員会 (3) 調査・研究委員会 (4) 教育・研修委員会 (5) 広報委員会 (6) 社会連携委員会 (7) 国際連携委員会 (8) 庶務委員会 (9) 財務委員会 (10) 利益相反委員会</p>	P4	<p>(委員会) 第17条 本会の事業遂行と円滑な運営のために次の委員会を設置する。 (1) 学術・プログラム委員会 (2) 編集委員会 (3) 賞等選考委員会 (4) 調査・研究委員会 (5) 教育・研修委員会 (6) 広報委員会 (7) 社会連携委員会 (8) 国際連携委員会 (9) 庶務委員会 (10) 財務委員会 (11) 利益相反委員会 (12) 倫理委員会</p>	
P5	<p>本施行細則は平成30年6月29日より施行する。 本施行細則は平成31年1月30日より施行する。 本施行細則は平成31年2月8日より施行する。 本施行細則は令和元年11月27日より施行する。 本施行細則は令和元年12月19日より施行する。 本施行細則は令和2年2月28日より施行する。 本施行細則は令和2年4月23日より施行する。 本施行細則は令和2年6月6日より施行する。 本施行細則は令和3年2月8日より施行する。 本施行細則は令和3年5月7日より施行する。 本施行細則は令和3年10月25日より施行する。</p>	P7	<p>本施行細則は平成30年6月29日より施行する。 本施行細則は平成31年1月30日より施行する。 本施行細則は平成31年2月8日より施行する。 本施行細則は令和元年11月27日より施行する。 本施行細則は令和元年12月19日より施行する。 本施行細則は令和2年2月28日より施行する。 本施行細則は令和2年4月23日より施行する。 本施行細則は令和2年6月6日より施行する。 本施行細則は令和3年2月8日より施行する。 本施行細則は令和3年5月7日より施行する。 本施行細則は令和3年10月25日より施行する。 本施行細則は令和4年2月8日より施行する。</p>	

報告事項 3. 新組織体制	第3期、第4期	第5期、第6期
	理事（医師・看護師） （定数12）	堀部敬三（理事長） 清水千佳子（副理事長） 小澤 美和 川井 章 鈴木 直 高橋 都 津村明美 富岡 晶子 森 文子 渡邊 知映
理事（その他の資格取得者、研究者） （定数2）	吉田 沙蘭	吉田 沙蘭 谷口明子
理事（患者・支援者・一般人） （定数2）	岸田 徹 桜井なおみ（理事長指名）	岸田 徹 樋口麻衣子
監事 （定数2）	小原 明 丸 光恵	天野慎介 鈴木 直

理事12名中9名が2期目継続。  
役員選挙により  
理事定数4名増員を含め、  
新理事6名が選任された。  
新監事2名が選任された。

理事の互選により、  
新理事長に清水千佳子さん、  
新副理事長に小澤美和さん  
が選任された。  
理事長により  
新理事1名が指名された。



# AYA研2022-

---

AYAがんの医療と支援のあり方研究会  
 2022年2月25日



## 定款（抜粋）

### 目的

第3条 この法人は、思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult, AYA）がん領域の学術活動、教育活動、社会啓発及び人材育成等を行うことにより、我が国の思春期・若年成人がん領域における医療と支援の向上に寄与することを目的とする。

### 事業

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会、講演会等の開催
  - (2) 学術誌及び論文図書等の刊行
  - (3) 研究の奨励及び研究業績の表彰
  - (4) 調査研究活動
  - (5) 教育・研修、並びに人材育成
  - (6) 社会啓発、並びに普及活動
  - (7) 関連の諸団体との連携
  - (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業については、日本国内外において行うものとする。

3

2022年3月20日



## AYA研のミッション

### AYA特有の課題解決のためのリーダーシップ

- 科学的データにもとづく医療・支援の推進
- 政策提言や啓発活動を通じた環境整備への貢献
- AYAがんの医療と支援を推進する人材の育成

### AYAがんのstakeholderのアドボケート

- 対等なパートナーシップによる Patient-Public Involvement の体現
- 現場の声に根差し、現場に還元される研究の推進

### AYAがんに関する情報と人材交流のハブ

- 疾患、臓器、年代、職域/立場をまたぐ領域横断的な交流の場の提供
- 上記を通じた新しい学際的領域の開拓

4

2022年3月20日



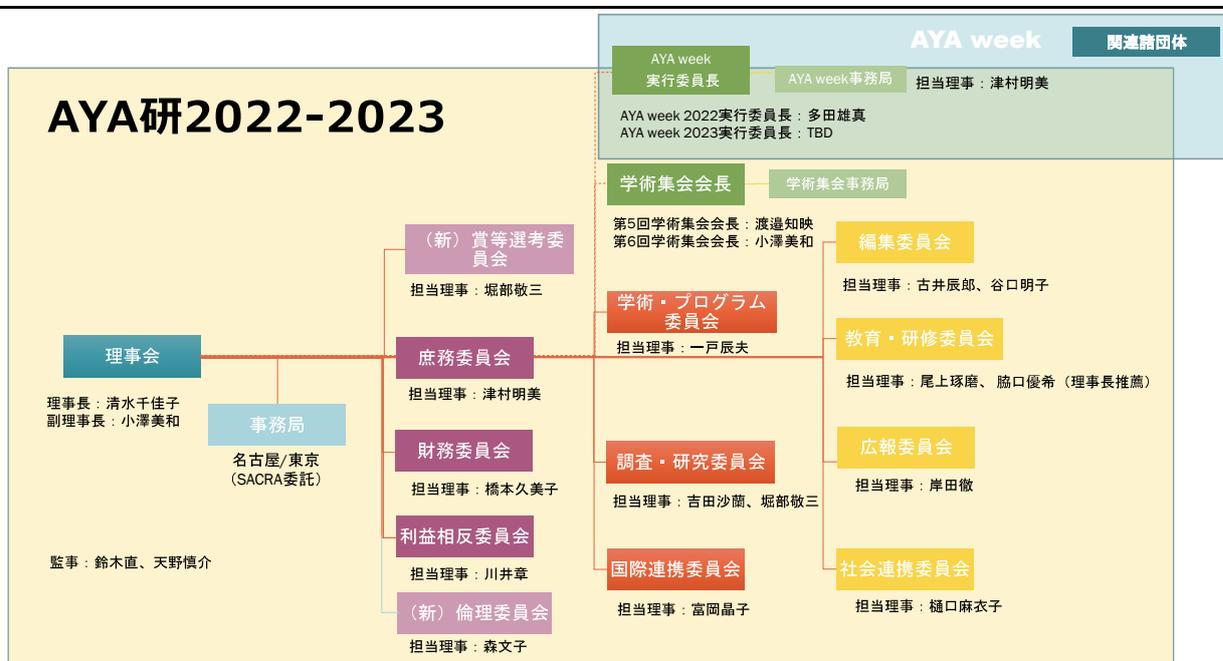
# AYA研の持続と発展のための課題

- AYA研会員数の増加
  - 若手、他領域への呼びかけ
  - 会員にとってのメリットのアピール（研究助成、国際連携など）
- 委員会活動の活性化
  - 若手会員の委員会活動への参加推進
  - AYAがん経験者のAYA研への参加の推進（ニーズのマッチング）
  - 委員会の横の連携の強化
- 学術的な発信力の強化
  - 学術集会・AYA weekの連携、学会連携の推進
  - 研究会誌への投稿の推進
- 安定した財源の確保
  - 会員の増加、会費納入率の向上
  - 寄付収入確保のための広報
  - ロビー活動（人材育成等の事業を施策と連動させるよう働きかけ）
- 事務局機能の強化
  - 庶務委員会との連携
  - プロジェクトマネジメントの強化（東京事務局）
  - 情報発信の強化（東京事務局）

5

2022年3月20日

## AYA研2022-2023



6

2022年3月20日

## 第5期事業計画書

令和4年(2022)年1月1日から令和4年(2022)12月31日まで

一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会

### I. 事業実施の概要

AYA がんの医療と支援のあり方研究会は、思春期・若年成人 (AYA) がん領域の学術活動、教育活動、社会啓発及び人材育成等を行うことにより、我が国の思春期・若年成人がん領域における医療と支援の向上に寄与することを目的とする。第5期は、学術集会の開催、研究会誌の刊行、各種研修会、各種広報・普及啓発活動に加えて、調査研究活動および国際連携活動を開始し、研究助成制度を設置して AYA がん研究の活性化を図る。また、コロナ禍を契機に普及した Web によるイベント開催の利点を生かして、活動の全国展開を推進する一方、コロナの収束を待って対面による交流の機会を設けて、より円滑な情報交換と連携体制の構築を図る。

### II. 事業に関する事項

(学術集会、講演会等の開催事業)

#### 1. 第4回学術集会の開催

会長：天野慎介（一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長）

副会長：鈴木 直（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）

渡邊知映（昭和大学保健医療学部）

テーマ：AYA がん患者のペイシエント・ジャーニーを支える

会期：2021年3月20日（日）～21日（月・祝）、19日（土）：オンライン市民公開講座

会場：~~パシフィコ横浜 会議センター~~（完全 Web 開催）

(学術誌及び論文図書等の刊行)

#### 2. 研究会誌「AYA がんの医療と支援」の刊行

第2巻第1号：2022年2月刊行

第2号：2022年7月刊行予定

(研究の奨励及び研究業績の表彰)

#### 3. 研究助成制度の創設

賞等選考委員会による制度設計および運営の開始

(調査研究活動)

#### 4. 調査研究活動の開始

AYA 世代がんの診療および生活支援の実態把握のための調査研究を実施する。

学術活動における倫理的配慮に関するコンセンサス形成を図る。

(教育・研修、並びに人材育成事業)

#### 5. 各種研修会の開催

- ・第5回、第6回 AYA 世代サポート研修会：参集型開催の実現
- ・Advanced コース：困難な事例の検討 (End of Life など)
- ・AYA 世代サポートチーム養成研修会

#### 6. 教育セミナーマニュアルの作成

開催形態の変更：有志施設による主催を AYA 研 教育・研修委員会がサポートする

#### 7. AYA 世代のがんピアサポーター養成研修会の開催

企画運営：社会連携委員会  
第2回：詳細未定

(社会啓発、並びに普及事業)

## 8. 広報活動

1. 広報資材の制作（パンフレット〈会員など向け〉・カード〈一般向け〉）
2. 年報の制作（寄付者への報告〈会員等への報告含む〉）
3. イベントの実施（夏頃～秋頃を予定・感染症の状況を加味し春頃に実施可能か判断）
4. ホームページのアップデート（適宜必要な情報等アップデートやリニューアルを行う）

## 9. AYA week 2022 の開催

全国各地で協働団体によるイベント開催  
 予定イベント数 70、イベント開催団体数 72、寄付・協賛 12 団体、後援 52 団体  
 期間：2022 年 3 月 5（土）～13 日（日）  
 場所：全国各地  
 開催形式：オンライン開催など

(関連の諸団体との連携)

### 10. 国際連携委員会の活動開始

Canteen Australia 等との交流・共同研究の推進

## III. 運営に関する事項

### 1. 通常総会の開催

日 時：2022 年 3 月 20 日（日）12：55～13：35  
 場 所：Zoom ウェビナー  
 審議事項：第 1 号議案 第 4 期事業報告  
 第 2 号議案 第 4 期決算報告

### 2. 理事会の開催

定例開催 4 回のほか、適宜臨時に開催する。

#### 1) 第 24 回理事会 (Web 開催)

日 時：2022 年 2 月 8 日（月）18:00～20:00  
 場 所：Zoom ルーム  
 審議事項：第 1 号議案 令和 3 年度事業報告について  
 第 2 号議案 令和 3 年度決算報告について  
 第 3 号議案 令和 4 年度事業計画および収支予算について  
 第 4 号議案 定款施行細則の変更（賞等選考委員会、倫理委員会の設置）について  
 第 5 号議案 次次期会長の選出  
 第 6 号議案 通常総会について（議事次第、開催方法・議決権）  
 第 7 号議案 第 4 回学術集会の開催形式について

#### 2) 第 25 回理事会 (Web 開催)

日 時：2022 年 2 月 25 日（金）18:00～20:00  
 場 所：Zoom ルーム  
 審議事項：第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について  
 第 2 号議案 令和 4 年度事業計画および収支予算について  
 第 3 号議案 通常総会について

## 第4号議案 第5回学術集会日程案について

## 3. 委員会の開催

本研究会の事業遂行のため、以下の委員会を随時開催する

- 1) 学術・プログラム委員会
- 2) 編集委員会
- 3) 賞等選考委員会
- 4) 調査・研究委員会
- 5) 教育・研修委員会
- 6) 広報委員会
- 7) 社会連携委員会
- 8) 国際連携委員会
- 9) 庶務委員会
- 10) 財務委員会
- 11) 利益相反委員会
- 12) 倫理委員会

## IV. 役員に関する事項

任期（第5期～第6期）：2022年3月20日総会終結後～2024年定時総会終結まで

理事長

清水 千佳子（国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科）

副理事長

小澤 美和（聖路加国際病院 小児科）

理事

一戸 辰夫（広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科）  
 尾上 琢磨（兵庫県立がんセンター 腫瘍内科）  
 川井 章（国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科）  
 岸田 徹（NPO 法人がんノート）  
 谷口 明子（東洋大学大学院文学研究科 教育学専攻）  
 津村 明美（認定NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト）  
 富岡 晶子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）  
 橋本 久美子（聖路加国際病院 相談支援センター）  
 樋口 麻衣子（富山大学附属病院 看護部）  
 古井 辰郎（岐阜大学医学部附属病院 成育医療センター）  
 堀部 敬三（国立病院機構名古屋医療センター 小児科）  
 森 文子（国立がん研究センター中央病院 看護部）  
 吉田 沙蘭（東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座）  
 脇口 優希（兵庫県立大学看護学部 治療看護学）

監事

天野 慎介（一般社団法人全国がん患者団体連合会）  
 鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）

2021.12.31

単位(円)

単位(円)

科目	令和3年度決算額	備考	令和4年度予算額	備考
I 収入の部				
1) 一般会計				
会費収入	2,384,000		3,730,000	
正会員	2,015,000	納入率82%	2,750,000	550名×5,000円
準会員	174,000	納入率63%	400,000	200名×2,000円
学生会員	45,000	納入率75%	80,000	80名×1,000円
賛助会員(個人・団体)	150,000	納入率75%	500,000	10社1口(1口50,000円)
事業収入	1,804,369		2,155,000	
学術交流事業	0		0	
図書刊行事業	838,369		310,000	
サポートガイド	210,147	印税	210,000	印税
AYA冊子	626,462	200円×3101冊	100,000	200円×500冊
その他	1,760	文献提供サービス880円×2件	0	編集/文献提供サービス
教育・研修事業	966,000		1,845,000	
医療従事者向け研修会	966,000	教育・研修/研修会:参加費2回開催	1,845,000	教育・研修/研修会参加費年3回
教育セミナー	0		0	
ピアサポート研修事業	0		0	
普及啓発事業	0		0	
公開シンポジウム	0		0	
寄付金収入	39,118,291	大口寄付(3,000万円、800万円、100万円) HPからの寄付(102,603円) 自販機(5,688円)	10,000,000	企業寄付、HPからの寄付、自販機、その他
雑収入	10,007	税務署還付金、ワクチン給付金	5	税務署還付金
その他(利息)	125		125	
小計	43,316,792		15,885,130	
2) 特別会計				
特別会計費	22,985,268		24,000,000	
第3回学術集会	20,144,418	黒字分(3,909,429円)一般会計へ		
第4回学術集会			20,000,000	
AYA week2021	2,840,850	黒字分(710,926円)AYAweek2022準備金へ		
AYA week2022			4,000,000	
当期収入合計(B)	66,302,060		39,885,130	
II 支出の部				
1) 一般会計				
事業費	3,500,832		8,655,000	
学術交流事業	1,000,000	第4回学術集会運営助成金	1,000,000	第5回学術集会運営助成金
図書刊行事業	965,460	編集/オンラインジャーナル誌制作費:349,030円(1巻1号)、140,580円(1巻2号)、244,576円(ScholarOne年間利用料)、執筆謝金22,274円 AYA冊子/増刷209,000円	1,000,000	編集/オンラインジャーナル誌制作費:350,000円×2回/年、オンライン投稿査読システム利用料250,000円/年間利用、依頼原稿謝金 50,000円
研究奨励・表彰事業	0		3,000,000	新規事業:研究助成事業
調査研究事業	0		300,000	調査・研究委員会/新規事業・交通費、会議費、資料作成、倫理審査
教育・研修事業	1,404,920	教育・研修/e-learningシステム:システム構築・保守サポート312,840円、Vimeo(年間契約)、Edulio(2-11月分)102,740円 教育・研修/研修会:謝金・交通費572,649円、TEXT印刷費217,410円、郵送費34,076円、消耗品費17,685円 教育・研修/教育セミナー:謝金・交通費 58,424円 社会連携/AYAピアサポーター研修:謝金89,096円	2,255,000	教育・研修/e-learningシステム構築・保守サポート、Vimeo、Edulio使用料440,000円 教育・研修/研修会及び教育セミナー:交通費、人件費、会場費及び資料印刷等1,165,000円 社会連携/AYAピアサポーター研修+交流会(プログラム検討500,000円、実施(謝金等)150,000円)
普及啓発事業	57,000	広報/ピンバッジ制作費57,000円	350,000	広報/ピンバッジ制作費50,000円、広報資料制作費200,000円(デザイン・印刷等)、公開シンポジウム・イベント運営費用100,000円
連携事業	73,452	社会連携/LINE公式アカウント運用費54,303円、LINEチラシ郵送料19,149円	250,000	社会連携/LINE公式アカウント運用100,000円、患者会イベントカレンダー150,000円
国際連携事業	0		500,000	国際連携委員会/新規事業
その他の事業	0		0	
管理費	5,866,545		7,094,230	
事務委託費	5,637,500	事務局/事務委託5,500,000円(人件費/賃料/光熱費/管理料)、会計事務所委託110,000円、情報管理システム更新27,500円	5,630,000	事務局/事務委託5,500,000円(人件費/賃料/光熱費/管理料)、会計事務所委託100,000円等、情報管理システム更新30,000円
通信費	37,794	事務局/電話代、切手代、AYA冊子送料	350,000	事務局/電話、切手、送料(AYA冊子等)
消耗品費	4,288	事務局/事務消耗品(寄付者額、印鑑代)	50,000	事務局/事務消耗品等(寄付者額等)
旅費交通費	0		200,000	事務局、理事会、その他
印刷費	0		200,000	事務局、理事会、その他
ウェブ関係費	119,330	事務局/サーバー年間利用料9,220円、WEB会議システム年間利用料22,110円 広報/HP修繕費88,000円	574,230	事務局/サーバー利用9,220円/年、WEB会議システム22,110円/年、WEB会議システム(総会用)契約 12,900円/1ヵ月 広報/HPリニューアル費用200,000円、ホームページ年間保守契約330,000円
租税公課	1,497	所得税、利息、全部事項証明書発行料	90,000	所得税等、印紙税等
創立費償却/減価償却費	66,136	現金の異動を伴わない(毎年償却している)	67,000	現金の異動を伴わない(毎年償却している)
経費	22,828	事務局/振込手数料、残高証明書発行料、レジットカード年会費	40,000	事務局/振込手数料他
予備費	0		0	
小計	9,390,205		15,789,230	
2) 特別会計				
特別会計費	18,364,913		24,000,000	
第3回学術集会	16,234,989			
第4回学術集会			20,000,000	
AYA week2021	2,129,924			
AYA week2022			4,000,000	
当期支出合計(C)	27,755,118		39,789,230	
当期経常増減額(B-C)	38,546,942		95,900	
法人税、住民税、及び事業税	71,000		71,000	
当期正味財産増減額	38,475,942		24,900	
前期繰越正味財産額	9,333,278		47,809,220	
次年度繰越収支差額	47,809,220		47,834,120	

## 第4回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会 プログラム

3月19日(土) 10:00~12:00

当事者セッション：AYA 研ラジオ・パート1

「ココがモヤるよ AYA 世代」

司会	谷島 雄一郎	(ダカラコソクリエイト)
モヤリスト	井上 裕香子	(Pink Ring)
	楠木 重範	(TEAM NEXT GOAL)
	立入 健太郎	(畿央大学健康科学部理学療法学科・学生)
	多田 雄真	(大阪国際がんセンター血液内科・AYA 世代サポートチーム)
	中西 俊介	(AYA リバ～AYA 世代の自由なカタリバ～)
	林 みずほ	(大阪大学医学部附属病院緩和医療センター)

共催：ダカラコソクリエイト

3月19日(土) 13:00~15:00

当事者セッション：AYA 研ラジオ・パート2

「がんノート特番：AYA 世代のペイシェントジャーニー」

司会	岸田 徹	(NPO 法人がんノート)
ディスカッサント	クルーグ 絵里香	(卵巣がん経験者)
	紙 雄規	(急性骨髄性白血病経験者)
	永江 耕治	(精巣腫瘍経験者)
	福田 ゆう子	(乳がん経験者)

共催：NPO 法人がんノート

3月19日(土) 16:00~18:30

市民公開講座

基調講演①就学の現状と未来

がん治療は大事、でも AYA 世代にとってもっと大切に思える教育の先にあるものとは

司会	川口 貴志	(公益財団法人がんの子どもを守る会)
	熊耳 宏介	(若年生がん患者団体 STAND UP!!)
演者	小澤 美和	(聖路加国際病院)

## 基調講演②企業から見た AYA 世代のがん

### D&I (ダイバーシティ & インクルージョン) の新たな潮流

司会	武田 雅子	(カルビー株式会社 人事総務本部)
	清水 千佳子	(国立国際医療研究センター病院)
演者	梅田 恵	(EY Japan 株式会社 Diversity, Equity and Inclusiveness)

### パネルディスカッション 本音で討論、「働く」って何だ？

#### がんのオキドコロはどうする？ (新規就労)

モデレーター	武田 雅子	(カルビー株式会社 人事総務本部)
パネラー	阿萬 和弘	(アフラック生命保険株式会社)
	近藤 明美	(一般社団法人 CSR プロジェクト)
	山下 芙美子	(キラキライフ社会保険労務士事務所)
	泉田 綾子	(資生堂ジャパン首都圏営業本部ソーシャルエリアパートナー)

### パネルディスカッション シンライチョキンを貯めよう (継続就労・転職)

モデレーター	佐柳 みすず	(アフラック生命保険株式会社)
パネラー	武田 雅子	(カルビー株式会社 人事総務本部)
	橋本 久美子	(聖路加国際病院)
	立石 清一郎	(産業医科大学病院)

### パネルディスカッション 第二の患者・家族の就労を考えよう

モデレーター	井原 有紀	(ノバルティスファーマ株式会社)
パネラー	谷井 晃子	(がんの子どもを守る会静岡支部)
	藤田 久子	(一般社団法人 CSR プロジェクト)
	立石 清一郎	(産業医科大学病院)

### まとめ 人生の羅針盤は、自分で動かせるかも

演者	桜井 なおみ	(一般社団法人 CSR プロジェクト代表理事)
----	--------	-------------------------

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

一般社団法人 CSR プロジェクト (日本対がん協会の協力による休眠預金活用事業)

協 賛：アフラック生命保険株式会社

協 力：資生堂ジャパン株式会社

後 援：横浜市医療局・公益財団法人日本対がん協会・一般社団法人全国がん患者団体連合会・

公益財団法人がんの子どもを守る会

3月20日(日) 9:00~10:30

パネルディスカッション：AYA がんの治療成績向上に向けた取り組み

- 座長 湯坐 有希 (東京都立小児総合医療センター)  
 天野 慎介 (一般社団法人 全国がん患者団体連合会)
- 演者 AYA 世代の悪性骨軟部腫瘍(肉腫) 治療成績向上のために  
 川井 章 (国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・  
 リハビリテーション科)
- AYA 世代の造血器腫瘍に対する「より優しい治療」の実現を目指して  
 一戸 辰夫 (広島大学 血液・腫瘍内科)
- ディスカッサント 清水 千佳子 (国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科)  
 藤原 康弘 (医薬品医療機器総合機構)

3月20日(日) 10:35~11:35

パネルディスカッション：AYA がん患者の「妊孕性」を支える

- 座長 安宅 大輝 (東邦大学医療センター大森病院 主任看護師  
 不妊症看護認定看護師)  
 御船 美絵 (Pink Ring)
- 演者 本邦におけるがん・生殖医療の今後の課題一次の10年を目指して  
 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学)  
 がん治療後に家族をつくるジャーニーを考える  
 渡邊 知映 (昭和大学 保健医療学部)
- ディスカッサント 岸田 徹 (NPO 法人がんノート代表理事)  
 岩澤 玉青 (リンパ浮腫ネットワークジャパン (リンネット) 代表)  
 三原 じゅん子 (内閣府大臣補佐官 参議院議員)

共催：日本がん・生殖医療学会

3月20日(日) 11:55~12:45

ランチョンセミナー：子宮頸がん予防 最新の話

- 座長 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科教授)
- 演者 生きてるだけで価値がある  
 松田 陽子 (株式会社 One Planet)  
 若い世代を脅かす子宮頸がんの予防法  
 黒川 哲司 (福井大学医学部附属病院産科婦人科)

共催：MSD 株式会社

3月20日(日) 13:40~14:10

会長講演

座長 渡邊 知映 (昭和大学 保健医療学部)

演者 天野 慎介 (一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長)

3月20日(日) 14:15~14:55

優秀演題

座長 天野 慎介 (一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長)

演者 地方自治体におけるAYA世代のがん患者への支援に関する実態調査  
~在宅療養支援費用助成の実態~

畑中 めぐみ (国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

行動経済学の視点からみたAYA世代がん患者へのアピアランスケア支援の方向性

桜井なおみ (一般社団法人 CSR プロジェクト代表理事)

看看連携による外来から始まるAYAがん患者支援 ~2018年からの活動報告~

橋本 久美子 (聖路加国際病院)

友達と同じことがしたいー中学生女子に対するアピアランス支援の例ー

藤間 勝子 (国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター)

3月20日(日) 15:00~15:50

アフタヌーンセミナー：小児・思春期の血液がん造血幹細胞移植後のLTFU(長期フォローアップ)

座長 田中 淳司 (東京女子医科大学 血液内科学講座 教授・講座主任)

演者 清谷 千賀子 (国立成育医療研究センター 小児がんセンター血液腫瘍科医長)

小児造血細胞移植後の長期フォローアップ外来における現状と課題

柴田 映子 (国立成育医療研究センター 看護部)

共催：ヤンセンファーマ株式会社

3月20日(日) 16:00~17:00

ミニオーラル 1 活動報告

- 座長**
- 丸 光恵 (兵庫県立大学 看護学部 小児看護学)
- 加藤 那津 (若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場 くまの間 代表)
- 演者**
- AYA 世代がん患者を対象としたコンサルテーション活動**
- “AYA ラウンド” の実際
- 白石 恵子 (独立行政法人国立病院機構九州がんセンター  
サイコオンコロジー科)
- 地域がん診療連携拠点病院における職種別 AYA 世代、院内ニーズは何か?**
- 渡邊 純子 (JA 長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター)
- AYA 心理相談外来の実践と課題**
- 小林真理子 (聖路加国際病院 AYA サバイバーシップセンター)
- AYA 世代がん患者サロン「LIP」に関する活動報告**
- 東矢俊一 (九州がんセンター)
- 小児・AYA がんサバイバーの長期サバイバーシップ支援に関する  
多機関共同研究プロジェクト "AMADEUS"**
- 岩田慎太郎 (国立がん研究センター中央病院)
- 当院における AYA 世代がん患者に対するリハビリテーション  
～ AYA 世代がん部門での活動～**
- 窪 優子 (広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門)
- 当院の小児・AYA がん長期支援センターについて**
- 藁谷 朋子 (公立大学法人福島県立医科大学附属病院小児・AYA  
がん長期支援センター)

3月20日(日) 16:00~17:05

ミニオーラル 1 研究発表

- 座長**
- 堀江 良樹 (聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学)  
 関口 陽子 (がん研有明病院中央手術部看護師)
- 演者**
- 「希少がん Meet the Expert」を通じた AYA 世代の参加者の医療情報ニーズ  
 検索および情報提供手段の検討  
 加藤 陽子 (国立がん研究センター 希少がんセンター)  
 思春期がん患者の妊孕性温存に関する意思決定支援のあり方  
 矢野麻衣子 (大阪市立総合医療センター AYA 病棟)  
**AYA 世代がんに対する陽子線治療**  
 副島 俊典 (神戸陽子線センター)  
 がん薬物療法中の若年成人期がん患者の身体症状および心理的苦痛の実態と  
 自己効力感との関連  
 堀口 沙希 (国立がん研究センター中央病院 看護部)  
**AYA 世代版苦痛のスクリーニングシート導入による看護師の患者理解のための介入  
 の変化**  
 市田 佳代 (地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター)  
**AYA 世代を対象とした院内のオンライン患者サポートプログラム**  
**「オンライン AYA ひろば」に関するアンケート調査**  
 平山 貴敏 (国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科)  
**入院中の高校生がん患者に対する教育支援の取り組みと成果**  
 寺田 和樹 (成田赤十字病院 小児血液腫瘍科)  
**AYA 世代入院患者の学校生活参加支援**  
**～テレプレゼンスロボットの活用可能性と課題～**  
 大須賀美恵子 (大阪工業大学・ロボティクス & デザイン工学科)  
**小児がんを罹患した高校生と家族が入院治療中に求める学習支援**  
 栗林 佑季 (兵庫県立こども病院 看護部)

3月20日(日) 16:00~16:40

ミニオーラル 1 事例紹介

- 座長** 尾上 琢磨 (兵庫県立がんセンター 腫瘍内科)  
 桜井 なおみ (一般社団法人 CSR プロジェクト代表理事)
- 演者** 10代女性患者と母親へのターミナルケアにおける音楽療法士と訪問学校教諭との連携  
 伊藤 マミ (聖路加国際病院音楽療法士)  
 家族の意向により治療方針立案に難渋したが、多職種連携で本人の意向を確認し治療が進捗した進行癌の1例  
 園田 顕三 (九州がんセンター 婦人科)  
 AYA 世代終末期がん患者のレジリエンスを高める支援  
 泊 由布子 (国立病院機構九州がんセンター緩和ケアセンター)  
 「学び続けたい」思いを支える  
 ー入院中に同時双方向型遠隔授業を実施した高校生がん患者の一例ー  
 高橋 郁子 (静岡県立静岡がんセンター 小児科)  
 成人移行を契機に、PMTS を抱えてきたことを語り始めた A 子との心理療法  
 嶋田 一樹 (静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 診療支援部 心理療法室)

3月20日(日) 16:45~17:25

ミニオーラル 2 事例紹介

- 座長 恵美 純子 (広島大学病院乳腺外科)  
 齊藤 太樹 (東京歯科大学市川総合病院がん相談支援センター)
- 演者 **AYA 世代サポートチームが介入することで遺伝性腫瘍に関するニーズに対応できた 3 事例**
- 藤澤 文絵 (大阪国際がんセンター AYA 世代サポートチーム)  
**軟部腫瘍に罹患し治療終了後に不妊治療を当院で実施した患者の妊娠・出産報告**
- 越智 将航 (京野アートクリニック高輪)  
**妊孕性温存目的卵子凍結 4 年後に精巣内精子を用いた顕微授精により健児を得た乳がん症例の 1 例**
- 小林 由芽 (京野アートクリニック仙台)  
**治療開始までの猶予がない中で、未成熟卵子採取・IVM 法で妊孕性温存のための卵子凍結保存が可能となった 2 事例の検討**
- 多田 雄真 (大阪国際がんセンター AYA 世代サポートチーム)  
**造血幹細胞移植後に妊孕性温存療法により妊娠出産した急性骨髄性白血病の一例**
- 佐治 正太 (聖マリアンナ医科大学病院産婦人科学)

3月20日(日) 17:05~18:00

ミニオーラル 2 活動報告

- 座長**
- 篠木 絵里 (東京医療保健大学千葉看護学部)  
 山谷 佳子 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)
- 演者**
- Web での公開を前提とした AYA がん体験談の執筆過程に関する研究**  
 谷口 晃瑠 (国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部患者市民連携)
- AYA 世代がん治療において生殖機能温存療法を推進する当院での活動**  
 園田 顕三 (九州がんセンター AYA 世代・妊孕性温存対策チーム)
- LTFU 外来で相談された AYA 世代の性腺機能問題**  
 村上 五月 (愛知医科大学病院臨床腫瘍センター)
- 当院における乳がん患者の妊孕性温存に対する取り組み**  
 秋山 恭子 (聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科)
- コロナ禍 2 年目のオンラインでの活動と模索。**  
 桜林 芙美 (AYA GENERATION+group)
- 世代と立場を超えたスタッフ間交流による人材育成  
 ~垣根のない患者会活動から若年がん患者スタッフのライフデザインを応援する**  
 植木 朋子 (認定 NPO 法人オレンジティ)
- 学生主導による “ 患者の語りを聴く ” 活動の報告と AYA がん教育への可能性**  
 西岡龍一郎 (富山大学医学部医学)
- 昭和女子大学「 “ 女性とがん ” プロジェクト」を通じた  
 AYA を知るプロジェクト**  
 桜井なおみ キャンサー・ソリューションズ株式会社

3月20日(日) 17:10~18:15

ミニオーラル 2 研究発表

- 座長**
- 樋口 麻衣子 (富山大学附属病院看護部)  
小原 明 (東京工科大学医療保健学部 看護学科)
- 演者**
- AYA 世代患者における治療中のニーズ変化と支援に関する調査研究**  
五木田茶舞 (埼玉県立がんセンター整形外科)
- レセプトデータベースを用いた AYA 世代がんサバイバーの保険離脱率の検討**  
下村 昭彦 (国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍)
- 小児・AYA 世代の慢性骨髄性白血病 (CML) 治療における経済的課題  
—CML 患者・家族会調査から—**  
河田 純一 (大正大学大学院人間学研究科)
- AYA 世代グリオーマ患者の倦怠感と QOL**  
櫻井 卓郎 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)
- 思春期がん罹患者の生活上の問題点と作業療法の動向—文献研究を通して—**  
佐野 雛子 (筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群)
- AYA 世代の抗がん剤治療と腰椎骨量低下の関係性について**  
岩崎 玲奈 (独立行政法人 労働者健康安全機構 九州労災病院)
- 【演題】AYA 世代小児がん経験者に対して個別性を意識した自立支援計画についての実践報告**  
郡司美千代 (聖路加国際病院 看護部)
- 術後機能や QOL は小児・AYA 世代悪性骨腫瘍サバイバーのスポーツ復帰に影響を及ぼすか?**  
福島 俊 (国がん中央病院)
- 私たちだって、スポーツしたい! - 小児・AYA 世代の悪性骨腫瘍サバイバーにおけるスポーツ活動研究 -**  
大木 麻実 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

3月21日(祝) 9:00~9:50

スポンサードシンポジウム：小児がん診療におけるゲノム医療の実際

座長 堀部 敬三 (名古屋医療センター 小児科顧問 上席研究員)

演者 真部 淳 (北海道大学大学院医学研究院小児科学教室 教授)

共催：中外製薬株式会社

シンポジウム

3月21日(祝) 9:55~11:15

AYA がん患者の「看取り」を支える

座長 栗原 幸江 (駒込病院)

演者 **AYA 緩和ケアの英国事情**

多田羅 竜平 (大阪市立総合医療センター 緩和医療科)

**AYA 世代がん患者の在宅医療の現状**

~東京都「AYA世代のがん患者に関する実態調査」のから~

橋本 久美子 (聖路加国際病院 相談支援センター)

**小児・AYA 世代がん患者の在宅看取り**

大隅 朋生 (子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田)

**AYA がん患者の終末期に必要な医療と療養環境について -在宅医の立場から-**

森 尚子 (赤羽在宅クリニック)

**AYA 世代の再発・進行がん患者に必要なもの、足りないもの**

加藤 那津 (若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場 くまの間代表)

3月21日(祝) 11:20~12:10

スポンサードシンポジウム：卵巣がん治療における遺伝カウンセリング

座長 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科教授)

演者 卵巣がんと AYA 世代の遺伝カウンセリング

田辺 記子 (国立がん研究センター中央病院 認定遺伝カウンセラー®)

遺伝性卵巣がんの薬物療法

今井 雄一 (横浜市立大学医学部 産婦人科学教室 診療講師)

共催：武田薬品工業株式会社

3月21日(祝) 12:25~13:15

ランチョンセミナー：造血幹細胞移植と AYA

座長 豊嶋 崇徳 (北海道大学)

演者 AYA 世代の造血幹細胞移植患者の妊孕性温存

蘆澤 正弘 (自治医科大学内科学講座血液学部門)

AYA 世代における就労と就学～造血細胞移植と向き合って～

西森 久和 (岡山大学病院血液・腫瘍内科)

共催：ノバルティスファーマ株式会社

3月21日(祝) 13:30~14:20

スポンサードシンポジウム：どこが違うの？AYA 病棟と AYA チーム

座長 清水 千佳子 (国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科)

演者 AYA 病棟の取り組みと課題について

石田 裕二 (静岡県立 静岡がんセンター小児科)

多職種チームでの AYA 世代がん支援の実践と課題

多田 雄真 (大阪国際がんセンター 血液内科・AYA 世代サポートチーム)

共催：アフラック生命保険株式会社

3月21日(祝) 14:25~15:15

スポンサードシンポジウム：AYA 世代がん患者が自分らしく生きていくための自己管理能力を促進する

座長 北野 敦子 (聖路加国際病院 腫瘍内科)

演者 AYA 世代がん患者が直面する社会的問題と支援のあり方

坂本 はと恵 (国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター)

AYA 世代がん患者と関わるために知っておきたいこと

清水 研 (がん研究会有明病院 腫瘍精神科)

共催：ファイザー株式会社

3月21日(祝) 15:20~16:20 第一会場 (3F 301+302)

AYA がん患者を「地域」で支える

座長 高橋 都 (日本がんサバイバーシップネットワーク)  
桜井 なおみ (一般社団法人 CSR プロジェクト代表理事)

演者 AYA 支援チームとネットワークの構築—当事者に届く医療と支援を目指して—  
清水 千佳子 (国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科)

AYA がん診療におけるプライマリ・ケアの可能性

西 明博 (社会福祉法人太陽会安房地域医療センター総合診療科)

AYA がん経験者が地域医療に期待すること

多和田 奈津子 (若年がん患者会ローズマリー 世話人)

共催：日本プライマリ・ケア連合学会

教育講演

OnDemand 配信

演者

**がん治療による男性不妊 その対応**

湯村 寧 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター)

**妊孕性温存療法の現状と課題**

～当院における 12 年間のがん・生殖医療外来から見てきたこと～

洞下 由記 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学教室)

**AYA がんと遺伝性腫瘍**

浦川 優作 (神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科)

**未成年の子どもがいる AYA 世代の患者へのサポート**

～親子を単位とした関わり～

小嶋 リベカ (国立がん研究センター 中央病院 緩和医療科)

**AYA 世代がん患者およびその家族に対する精神心理的支援**

吉田 沙蘭 (東北大学大学院教育学研究科)

**AYA 世代がんのピアサポート**

松井 基浩 (都立小児総合医療センター)

**AYA 世代がん患者へのリハビリテーション**

窪 優子 (広島大学病院・診療支援部リハビリテーション部)

報告事項7 次期学術集会

第5回 AYA 研学術集会

会期：2023年5月13日（土）・14日（日）

会場：昭和大学上條記念館

会長：渡邊知映（昭和大学保健医療学部）

副会長：小澤美和（聖路加国際病院 小児科）

岸田徹（NPO 法人がんノート）

報告事項8 次次期学術集会

第6回 AYA 研学術集会

会期：未定

会場：未定

会長：小澤美和（聖路加国際病院 小児科）

副会長：未定